



ほそかわ かつのり

## 細川 勝紀

現 国立琉球大学非常勤講師  
元 公立小・中学校教諭、教育委員会指導主事・主査・主幹、小学校校長、胆振教育研究所所長、胆振道德教育研究会会長、登別市校長会副会長

講演のテーマ

道德教育の効果を生み出す教師の道德観と教師の生きざま

(内容のポイント)

- ① 教師になった時の「感動」の意味
- ② 自分の「教師度」を知ろう
- ③ 教師は何故、道德教育を敬遠するのか

講演のテーマ

子供の生きる喜びと道德教育、そして教師の品性向上と道德実践

(内容のポイント)

- ① 教師にとって本当に必要な資質とは
- ② 子供に生きる喜びを与える教師とは
- ③ 子供の生きる喜びにつながる教育の実践と教師の感性

講演のテーマ

教師の感性、教師の道德性、そして教師の人間性

- ① 教師の感性と学力
- ② 人間教育の基盤になっている道德教育
- ③ 教育の核になる教師の人間性

講演のテーマ

子供を見つめ、授業を見つめ、そして自分を見つめる

- ① 子供を見つめることができる教師
- ② 授業を見つめることができる教師
- ③ 自分を見つめることができる教師

講演のテーマ	授業の心、教師の心、そして教師の道德心
<ul style="list-style-type: none"> <li>①教師が続けたい授業の心</li> <li>②子供の前に立つ教師の心の姿勢</li> <li>③教師の道德心と道德心の現れ方</li> </ul>	
講演のテーマ	教師の実践、教師の品格、そして教師の人生
<ul style="list-style-type: none"> <li>①教師の実践とは何か</li> <li>②教師の品格と教師の道德実践</li> <li>③教師の経験年数と教師の人生</li> </ul>	



のぐち よしひろ

## 野口 芳宏

現 植草学園大学名誉教授

元 公立小学校校長、北海道教育大学教授、植草学園大学教授、日本教育技術学会名誉会長、日本言語技術教育学会副会長、日本教育再生機構代表委員、(公財)千葉県青少年協会理事、君津文化協会会長、千葉県教育委員会委員長職務代理者

講演のテーマ

道徳教育実践者の基本的認識

(内容のポイント)

子供と直接かかわる実践者は、全ての教育の根本は道徳教育なのだという認識を持とう。学力の低下よりも道徳力の低下の方がずっと恐ろしい。そして道徳力の高い人は必ず人生を幸せに生きることができる。

講演のテーマ

授業者の実感に基づく実践を

(内容のポイント)

ありきたりの建前論や、マニュアル本位の授業観を越えたい。授業者の本音や実感に基づく説得力、迫力、実行力を大切にした展開を心がけたい。そのための教材開発例も示したい。

	<p>あおき おさむ 青 木 靖</p>
<p>講演のテーマ</p>	<p>元 東京都教育委員会指導主事 文京区教育委員会指導室長 公立小学校長・園長、東京成徳短期大学教授 淑徳大学非常勤講師、日本まりつき協会理事長</p> <p>かけがえのない命</p>
<p>(内容のポイント)</p> <p>命の大切さについてはすべての子供が理解している。道徳的心情や判断力は育っている。しかし、いじめによる自殺者が増えている。命の大切さを理解しただけでは画餅に等しい。真の命の大切さは理解するのではなく、体解（たいげ）することである。その方法とは？</p>	
<p>講演のテーマ</p>	<p>非認知能力である“関わる力”を育てる</p>
<p>(内容のポイント)</p> <p>“苦手と思う相手こそ、自分の心の成長に不可欠な人”に気づかせるとともに、どのように嫌いな人と接すればよいか、上手く関われるかを50年の教師人生の体験から考えます。</p>	

	<p>かねこ のぶお</p> <p>金子 信夫</p>
	<p>現 東海大学講師 元 教育長、神奈川県市町村教育長連合会会長 公立中学校校長</p>
<p>講演のテーマ</p>	<p>信頼される教員をめざして (教員採用試験合格をめざす人たちへ)</p>
<p>(内容のポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員とは： 教員の喜びと苦しみ、使命感とは</li> <li>・ プロ教員とは： 意欲、知識、技術は足し算、人間性、品性はかけ算</li> <li>・ 教員採用試験とは： 自治体の求める教員像、重要な自己分析</li> <li>・ 最終合格のために： 教員としての中心軸、合格の先にあるもの、偉大な教師</li> </ul>	
<p>講演のテーマ</p>	<p>先人に学ぶ ～子育ては自分育て～ (保護者、教員等の子育てに関わる人たちへ)</p>
<p>(内容のポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供の成長、発達とは： 発達曲線と復元力</li> <li>・ 不満と不安の先にあるもの： 反社会的行動と非社会的行動</li> <li>・ 倉橋惣三に学ぶ： 三つのトゲ</li> <li>・ 山本五十六に学ぶ： 率先垂範、感謝の心</li> <li>・ D. ローノルトに学ぶ： 子供が育つ魔法のことば</li> </ul>	

	<p>おさだ ひさお</p> <p>長 田 尚 夫</p>
	<p>現 学校法人向上学園理事、公益財団法人雨岳文庫評議員、社会福祉法人緑友会評議員</p> <p>元 公立小学校校長、教育長、中教育事務所所長 教育委員会義務教育課長</p>
<p>講演のテーマ</p>	<p>価値づけの共有 一 道徳授業の中で一</p>
<p>(内容のポイント)</p> <p>①心掛け、価値に気づく教師 ・道徳での価値づけ、地域や家族への発信</p> <p>②道徳の教材研究 ・教師の品性を磨く感性を磨く</p>	
<p>講演のテーマ</p>	<p>学校全体で道徳観を培う 一 個と組織の高まり一</p>
<p>(内容のポイント)</p> <p>①リーダーのあり方、風度の高い人間を志す</p> <p>②志の共有、授業の中にその種が ・学校・地域・保護者の共有認識、児童生徒の具体的姿から ・目標の具体化、地域の合言葉</p>	

	<p>きた いさお 紀 太 功</p>
	<p>現 津市立芸濃小学校・中学校学校評価委員、げいのうま ちづくり協議会顧問、芸濃地区社会福祉協議会理事 元 公立小・中学校校長、教育委員会指導主事、教育長 三重県同和教育研究協議会副会長</p>
<p>講演のテーマ</p>	<p>道徳教育は学校教育の中核</p>
<p>(内容のポイント)</p> <p>①学校教育の課題、問題点 —教育活動全般の質の向上を— ②生徒指導の充実を ③ものごとの本質を探究して、生き方を考え、生き方を高める道徳教育 の実践を</p>	
<p>講演のテーマ</p>	<p>この学校の教育を創ろう —最適な教育を—</p>
<p>(内容のポイント)</p> <p>①「義務教育」への疑問と危機感 —後世と後世への責任の自覚を— ②無力感を効力感に —形式化した教育実践の克服— ③児童・生徒、保護者 —地域住民の希望の持てる教育の推進を— ④生徒指導と道徳教育が機能する学校教育（教育実践）を —生き方を探求する 統合的な生徒指導・道徳教育の推進を—</p>	
<p>講演のテーマ</p>	<p>本質を見失わぬ学校経営を</p> <p>①偏りのない教育実践を ②教育力と社会力を備えた指導者、感化力のある指導者としての教師に ③教育課程の中核としての道徳教育の充実を ④児童・生徒の将来に生きる道徳教育を</p>

	すずき きよし 鈴木 清 士
	元 福武学園北陽高校校長、関西大学北陽中・高校校長、 私立高等学校進路指導研究会事務局長 大阪私学生徒指導連盟委員長
講演のテーマ	モラロジーの人間観 —「ホモ・パティエンス」という人間観について—
(内容のポイント) 人間は、生まれながらにして本能的にも社会的にも無力である。そして、その後の人生においても悲しみや苦しみが伴う。人間はこうした弱さを根源的にもっているからこそ、次のようなことがいえる。 ①人間には、親の養護、学校や社会の教育が必要である。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「感謝欲求」について</li> <li>・平松誉資事氏の教育実験 「勉強嫌いの子どもは親孝行で治せる？」</li> <li>・生きる力の原動力は「安心感」</li> </ul> ②他者に寄り添い、他者の痛みに共感することができる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ちむぐりさ」という言葉</li> <li>・人と人をつなげる他者との関係性：「互恵関係」</li> </ul> ③いのちのつながりに感謝し、いのちの根源を感じとることができる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・いのちはなぜ尊いか</li> <li>・いのちより大切なものは何か</li> </ul> ④人間は、主体的に生きることができる（人生に意味を見出すことができる）。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTSDとPTG</li> <li>・西田英史君とお母さんの生き方</li> </ul>	
講演のテーマ	つながるいのち・家族の絆

(内容のポイント)

1. 子供の心と向き合う、子供と寄り添う
  - ・心はどこにある？ ・心は見えるか、見えないか？
  - ・人と人がつながる理想の関係 ・日本の文化と「ちむぐりさ」
2. つながるいのち
  - ・時間軸を察知する ・いのちはなぜ尊いか いのちより尊いものは何か
  - ・空間軸を察知する ・道徳は家庭から ・「切に問うて近く思う、仁その中に在り」(論語)
3. 心のレベルを高める
  - ・「ハインツのジレンマ」(コールバーグ)より
  - ・子供たちの「愛」のイメージ
  - ・ジレンマに陥らない考え方：「三方よし」とは？
  - ・価値判断の多様性を認めることと、価値判断の基準を高めること

講演のテーマ

道徳教育の実を結ぶために

- 1 子供たちが育つ環境の変化について
  - ①家庭の問題 ・母親の役割
  - ②核家族化 ・価値観の多様化
    - ・「人に迷惑をかけなければいい」という考え方は正しいか
  - ③子供は学校教育に何を求めているか(義務教育に関する意識調査)
  - ④保護者対応に悩む学校
  - ⑤低下してきた地域の力 ・新しいコミュニティの考え方
- 2 最近の教師の道徳教育に対する意識
  - ①道徳教育と人権教育の共通点と相違点
  - ②道徳の授業に自信を持ってない理由
- 3 教師としての資質を高める
  - ①道徳の授業の指導観と指導技術を高める
  - ②子供の魂を揺さぶる感化力を高める
  - ③子供の道徳性(価値判断の基準)を高める

	わだ ともひさ 和田 知久
	現 国立大学法人琉球大学教授
講演のテーマ	道徳を論理的にとらえる ―大学教育での実践―
(内容のポイント) ①何故、道徳の授業が先生にとって難しいのか？ ②大学教育での実践（最低限のおしつけ） A：新しい定義：「倫理道徳とは、人間性・人格を向上する思いと行い」 B：仕事の目的の明確化：「お金より大切な目的が人生にはある」 C：判断の基準を示す：「三方よし、自分よし、第三者（社会）よし」 ③まとめ すでに「しつけ」の時期が過ぎた人間には理屈や同意のない道徳規範の指導では、説得することが困難。そこで、教育実践として、上記ABCのような同意を得やすい内容を体験等を交えて伝え、技術者倫理、カンニング問題、日本の歴史、戦争の歴史なども踏まえた教育活動を行い、多くの前向きな感想を得ている。	
講演のテーマ	倫理道徳とは何か？―結果の良くなる道徳をやろう―
(内容のポイント) 大学1年生の倫理講義の導入の道徳を前向きに捉える話 ①これまでの道徳観の確認 道徳を実行して幸せになれるのか？ ②喜びの多い幸せな人生を実現する方法とは何か？ ③人格向上の大切さ ④品性を向上する具体的アプローチ ⑤具体的な例	